



平成 26 年 5 月 9 日

株式会社 ト ー カ イ

（東証一部：9729）

ヘルスケア関連が堅調に推移 主要3セグメントすべてにおいて増収を達成 連結売上高は5期連続増収、過去最高を更新

平成 26 年 3 月期の当社連結業績は、売上高 951 億 67 百万円（前年同期比 9.5%増）、経常利益 72 億 42 百万円（同比 2.3%増）、当期純利益 35 億 57 百万円（同比 3.9%減）となった。

営業体制の強化やM&Aなど積極的に事業拡大を図ったことにより、連結売上高は「健康生活サービス」「調剤サービス」「環境サービス」の主要セグメントすべてにおいて増収を達成した。

「健康生活サービス」では、医療機関からのアウトソーシングを請け負う病院関連事業が、大型PFI案件などの新規獲得によって増収となったほか、介護用品のレンタルを行うシルバー事業が、営業所2カ所の新規開設、商品ラインナップの充実などによりレンタル売上が好調に推移した。さらには、給食事業、クリーニング設備製造事業の売上も好調であったことから、同セグメントは前年同期比増収となった。利益面では、新規案件に係る初期投資や資材更新に係るレンタル資材費の増加を増収による利益増及び工場の生産性向上等によるコスト削減により吸収し、同セグメントは前年同期比増益となった。

「調剤サービス」では、8店舗新規出店し、店舗数は合計 110 店舗となり、処方せん受付回数の増加や処方せん単価の上昇によって、前年同期比増収となった。一方、利益面では、薬剤師等の人員増による労務費の増加や、薬剤調達コストの増加により前年同期比減益となった。

「環境サービス」では、平成 26 年 3 月期より当セグメントに属する連結対象子会社が1社増加したことに加え、本格参入した太陽光事業が順調に推移したことから、前年同期比で大幅な増収増益となった。

これらにより連結売上高は5期連続の増収を確保し、過去最高額を更新。営業利益、経常利益については、2期ぶりの増益となったが、当期純利益については、特別利益において負ののれん発生に伴う利益を計上した一方、特別損失において減損損失を計上しており、2期ぶりの減益となった。

配当については、平成 26 年 3 月期の期末配当を当初の発表通り 16 円を予定しており、既に実施した中間配当 16 円と合わせ、年間配当 32 円となる見込み。

平成 27 年 3 月期の業績予想については、コアセグメントである「健康生活サービス」「調剤サービス」を中心に、業績は引き続き堅調に推移すると予想しており、売上高 993 億 28 百万円（前年同期比 4.4%増）、経常利益 75 億 52 百万円（同比 4.3%増）、当期純利益は、46 億 11 百万円（同比 29.6%増）を見込んでいる。

株主還元については、中間配当 16 円、期末配当 16 円の年間配当 32 円を予定している。

平成 26 年 3 月期決算発表（参考資料）

連結決算の概況

1. 営業成績の推移（実績及び予想）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
【実績】				
平成 24 年 3 月期	83,495	7,211	7,472	3,462
平成 25 年 3 月期	86,946	6,830	7,082	3,701
平成 26 年 3 月期（当期）	<u>95,167</u>	<u>6,952</u>	<u>7,242</u>	<u>3,557</u>
【通期業績予想】				
平成 27 年 3 月期	99,328	7,295	7,552	4,611

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. セグメント別損益の推移

（単位：百万円）

項目		健康生活 サービス	調剤 サービス	環境 サービス	その他
売上高	平成 24 年 3 月期	42,197	31,538	9,547	212
	平成 25 年 3 月期	44,823	32,251	9,688	181
	平成 26 年 3 月期（当期）	<u>47,454</u>	<u>35,262</u>	<u>12,259</u>	<u>191</u>
営業利益	平成 24 年 3 月期	4,331	3,839	401	27
	平成 25 年 3 月期	4,417	3,224	517	△5
	平成 26 年 3 月期（当期）	<u>4,537</u>	<u>3,115</u>	<u>579</u>	<u>46</u>

※売上高は、外部顧客に対する売上高を表しております。

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 設備投資の状況（実績及び計画）

（1）平成 26 年 3 月期（当期実績）

設備投資実施額は、24 億 62 百万円（前年同期比 32 億 61 百万円減 57.0%減）。

主なものは、トーカイでのレンタル資材や太陽光発電関連の購入費用、トーカイ（四国）でのリネン工場の設備更新に係る費用、たんぼぼ薬局の新規店舗開設費用等。

減価償却実施額は、29 億 89 百万円（前年同期比 1 億 73 百万円増 6.2%増）。

（2）平成 27 年 3 月期（今期計画）

設備投資計画額は、前年同期比 18 億 63 百万円増（75.7%増）の 43 億 25 百万円を予定。

主なものは、トーカイでの新工場建設、病院リネン工場の設備の増設・更新、レンタル資材及び新規営業所開設費用、たんぼぼ薬局の新規店舗開設費用、トーカイ（四国）での廃水処理設備の新設及び新規営業所開設費用等。

減価償却額は、前年同期比 1 億 94 百万円増（6.5%増）の 31 億 83 百万円を見込む。

以上